

□議員名：森山喜久

1 市職員の働き方・休み方

論点	労働時間の管理方法はどうなっているか。
回答	システムの的に管理するものではなく、朝礼で確認している状況である。庶務事務システムを導入し、出勤は難しいが、何時に帰ったかは管理ができています。

論点	ICカードという客観的な労働時間の管理方法を導入すべきと思うが、どう考えるか。
回答	今からデジタル化の時代で、既存のシステムとの連携もあり、新しいシステムを見ながら検討していく。

論点	労働基準監督署には「残業が15分単位で切り捨てられる」、「上司から30分単位で残業時間を報告するよう指示される」、「毎日、始業前に準備作業があるにもかかわらず賃金計算をされていない」といった相談が日々寄せられていると聞いている。本市で申請をしていない時間外労働はないか。
回答	本人が申請しなくて、かつ周りの職員、上司、所属長がそのことに気付いていなければ、漏れている可能性はあると思う。今、所属長に課員の抱えている仕事量を適切に把握し、1人の職員に過度の負担が掛かることがないように、業務を平準化してほしいと重々お願いしている。